



BHD1400FAM202409

スーパーゲーミングデスク

BHD-1400FAM/BHD-1400FAT（天板）

取扱説明書

※小さなお子様のご使用になる場合は※

保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はデスクとして使用されることを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BHD-1400FAM
外形寸法	幅 140cm × 奥行 70cm × 高さ 50cm（50～101cm）
甲板の表面材	合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）
表面加工	エポキシ樹脂粉体塗装
原産国	中国
耐荷重	85kg



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。
- 本製品の内部または付近で火気を使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品は部屋の出入りを妨げる場所や、緊急時の避難を妨げる場所に設置しないでください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

組み立てのご注意

- 電源プラグは組み立て途中でコンセントに接続しないでください。思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 組み立てる前に各部品に不足や不備がないかご確認ください。不足や不備があった場合は直ちに組み立てを中止してください。
- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は周囲に何もない平らで広い場所で行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ボルトの取り付け前に、ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのボルトを仮締めし、きちんと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとボルトを固定してください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。
- 全てのパーツを正しく取り付け使用してください。
- プラスドライバーをご用意ください。

※当説明書内容の無断転用を禁止します。 ©be-s Co., Ltd. All rights reserved

⚠ 使用上のご注意

- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 製品は床面が平らで、強度が十分な場所に設置・使用してください。不安定な場所で使用すると、転倒や破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 本製品は電気により駆動します。本体が濡れたり、異音や異臭等の異常が発生したりした場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災が発生するおそれがあり大変危険です。
- ACアダプターに記載された電圧以外では使用しないでください。感電や火災が発生するおそれがあり大変危険です。
- タコ足配線はおやめください。火災の原因となる可能性があります。
- 付属の電源ケーブル以外の使用はおやめください。火災や感電のおそれがあり大変危険です。
- 電源ケーブルに破損や異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。
火災や感電のおそれがあり大変危険です。
- 製品の上に立ち上がったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 天板の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。変色や変形の原因となります。
- 濡れたものを載せないでください。破損や劣化、サビの原因となるおそれがあります。
- 耐荷重を超える荷重は加えないでください。転倒または破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 天板に過度な荷重をかけたり、脚部の真上に集中して荷重をかけたりしないでください。急に天板が下がり、破損やけがをするおそれがあります。
- 強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 天板に物を載せる場合は天板からはみ出さないようにしてください。
転倒または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 天板の高さの調整は、10ページの機能説明をよくお読みの上で行ってください。
- 本製品を動作させる際は、付近に人やペットがいないこと、動作に干渉する家具等がないことを必ず確認してください。
可動箇所に挟まれてけがをしたり、製品とぶつかって物が倒れるおそれがあり大変危険です。
- 本製品に搭載されている「衝突検知機能」はオフにしないでください。衝突検知機能をオフにすると、障害物があった際に停止せず、デスクが転倒したり周辺の家具等を破壊する恐れがあり大変危険です。
- 昇降を行う際は、手や指を挟まないように十分ご注意ください。けがをするおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、コントローラーに触れたりしないでください。
感電するおそれがあり大変危険です。
- 水回りの近くなど、湿気が溜まりやすい場所での使用はおやめください。
製品の劣化や故障の原因となるおそれがあります。
- 電源およびコントローラーのケーブルを引っ張ったり、結んだりしないでください。断線・破損して感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 昇降する際は、コントローラーのボタンを複数同時に押さないでください。製品が破損したり予期せぬ動きでけがをするおそれがあります。
- 天板の上に物を置いたまま昇降を行う場合は、天板に置いたものが落下しないようご注意ください。
- 製品特性上、昇降部分などの可動箇所は傷が発生するおそれがあります。予めご了承ください。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。必要に応じて保護シート等をご使用ください。
- 本製品を移動させる際は、大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 移動をする際は引きずったり、落としたりしないでください。破損や床面に傷がついたり、けがをするおそれがあります。
- 天板に物を載せたまま移動させないでください。破損または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケーブルの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 防虫および殺虫剤、消臭剤や除菌剤などは直接製品に散布しないでください。劣化や変色の原因となるおそれがあります。
- 下記のような場所での使用はおやめください。劣化や色あせ、カビなどが発生するおそれがあります。
 - 直射日光に長時間さらされる場所
 - 冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所
 - 高温多湿な場所
- 乳幼児用の椅子をデスクに取り付けしないでください。デスクごと転倒し、けがをするおそれがあります。

■ メンテナンス・廃棄方法

- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。
- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は直ちに使用を中止してください。
- ボルト・ネジや各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 電源プラグ周辺はほこりが溜まらないよう定期的に清掃してください。ほこりが溜まったまま放置すると、火災の原因となる可能性があります。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに水分を乾いた布で十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ ホルムアルデヒドについて

● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・ 製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・ 初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・ 製品を設置してからも、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

● アレルギー症状が疑われる場合

何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

■ 組立前にお読みください



確実な組み立てのため、**ボルトを取り付ける際はまず手で回して取り付けてください。**
ボルト穴に正しいボルトが真っ直ぐ入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから最後にレンチでしっかりと増し締めしてください。

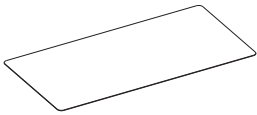
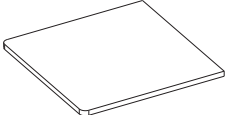
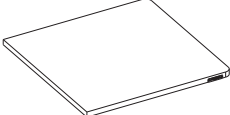
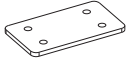
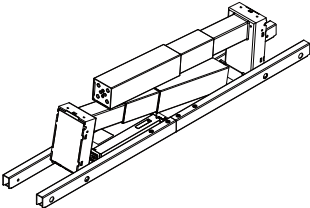
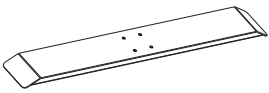
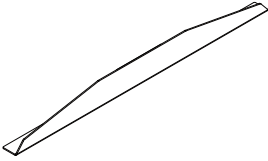
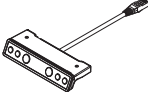
最初にきつくボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてボルトとボルト穴位置が合わなくなることがあります。

無理な力で斜めにねじ込むとボルト穴がつぶれボルトが入らなくなります。

また、**誤ったボルトを使用すると製品が破損する場合があります。**

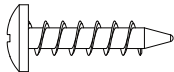
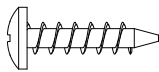
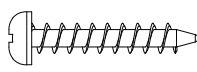
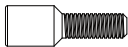
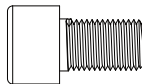
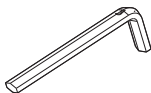
※誤った組立方法にて製品が破損した場合は、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

■ 部品・付属品

①	マウスパッド	②	天板（左）	③	天板（右）
					
×1		×1		×1	
④	天板連結プレート	⑤	フレーム	⑥	足部
					
×2		×1		×2	
⑦	天板固定アーム	⑧	コントローラー	⑨	電源ケーブル
					
×2		×1		×1	

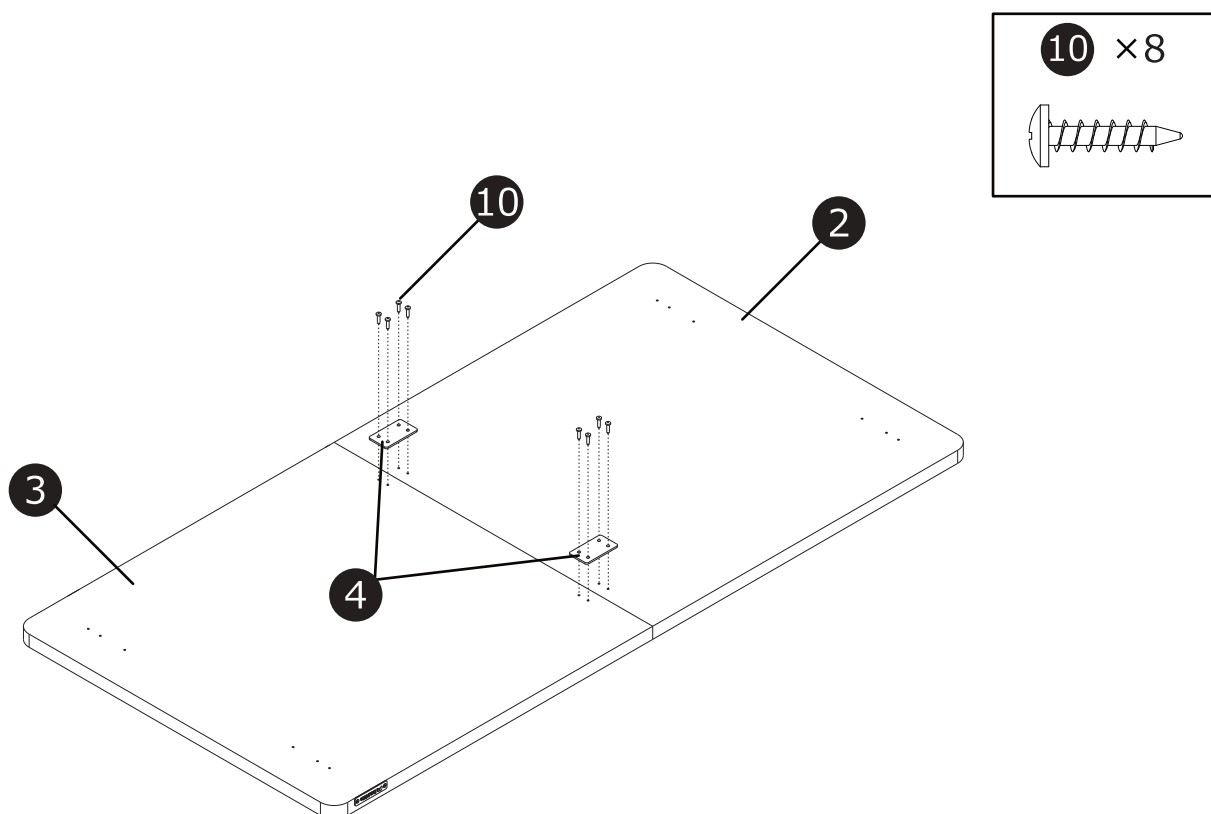
※本製品は梱包が2つに分かれています。

①・②・③・④・⑩は、BHD-1400FATに梱包されています。

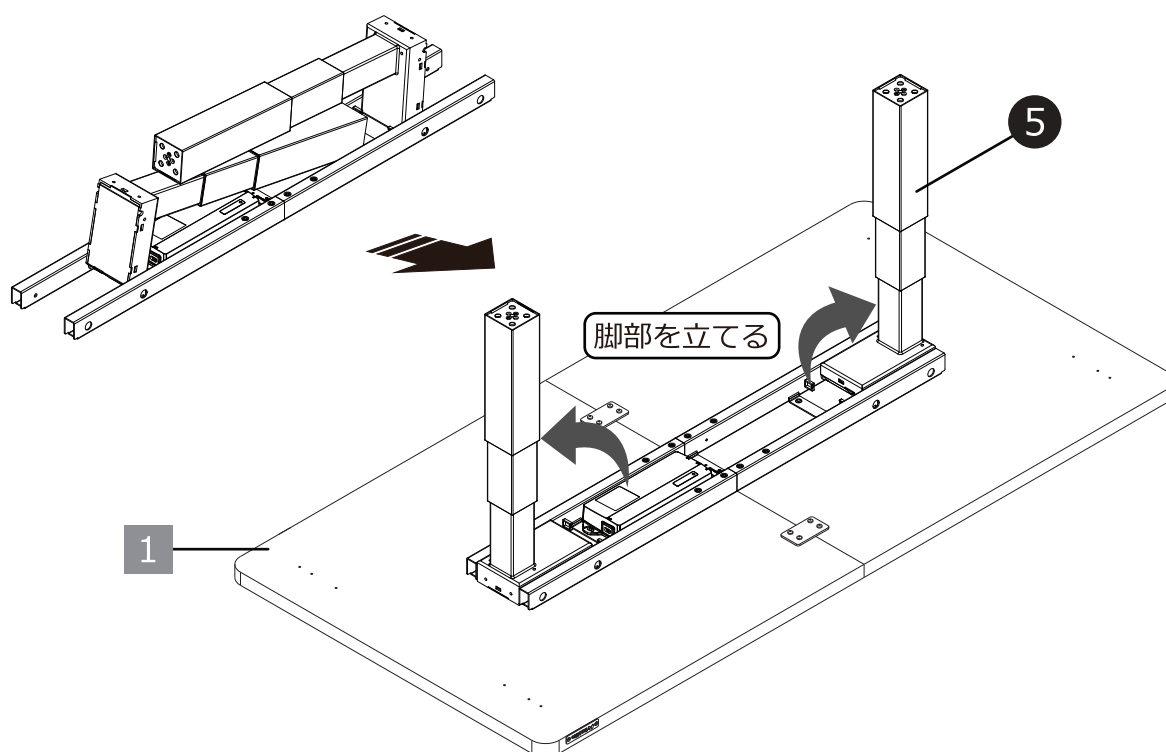
⑩	天板連結プレート用ネジ ST4.2×19mm-C	⑪	天板固定用ネジ 5×20mm	⑫	コントローラー用ネジ 4×22mm
 ※プラスドライバーが必要です。 ×8		 ※プラスドライバーが必要です。 ×8		 ※プラスドライバーが必要です。 ×2	
⑬	ボルト (A) M6×16mm	⑭	ボルト (B) M10×16mm	⑮	キャップ
 ×4		 ×8		 ×8	
⑯	六角レンチ				
 ×1					

■ 組み立て手順

- 1 ②天板（左）と③天板（右）を裏返して並べ、④天板連結プレートで固定します。

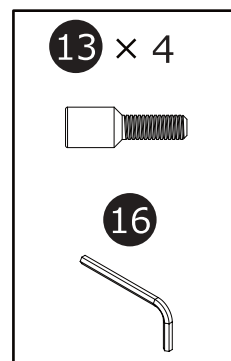
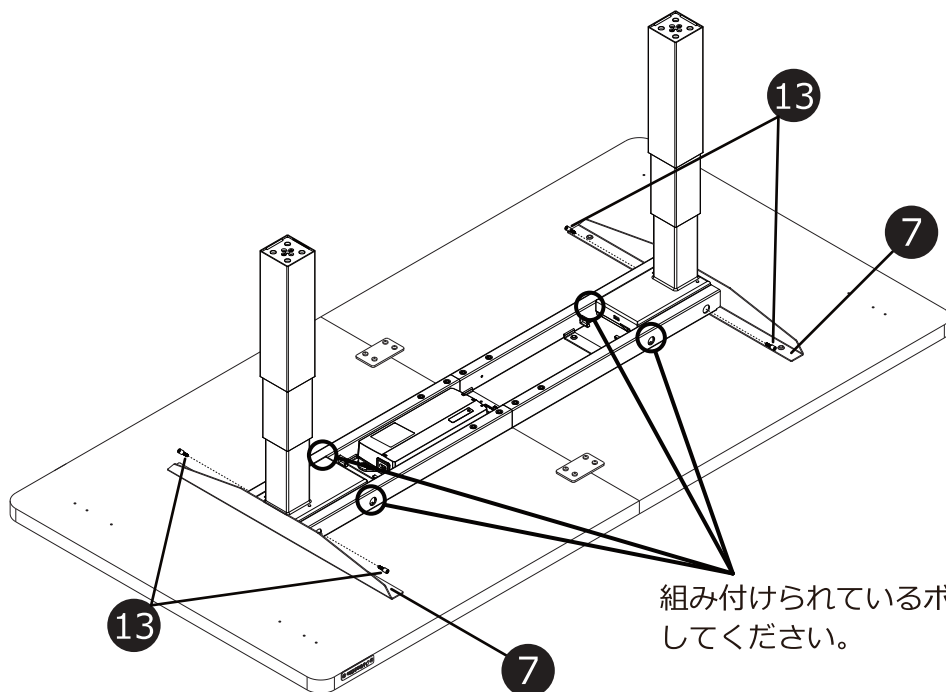


- 2 ⑤フレームを1で組み立てた天板の上に取り出し、両脚部を立てます。

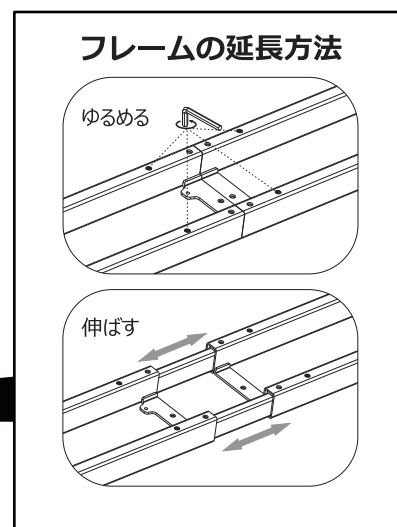
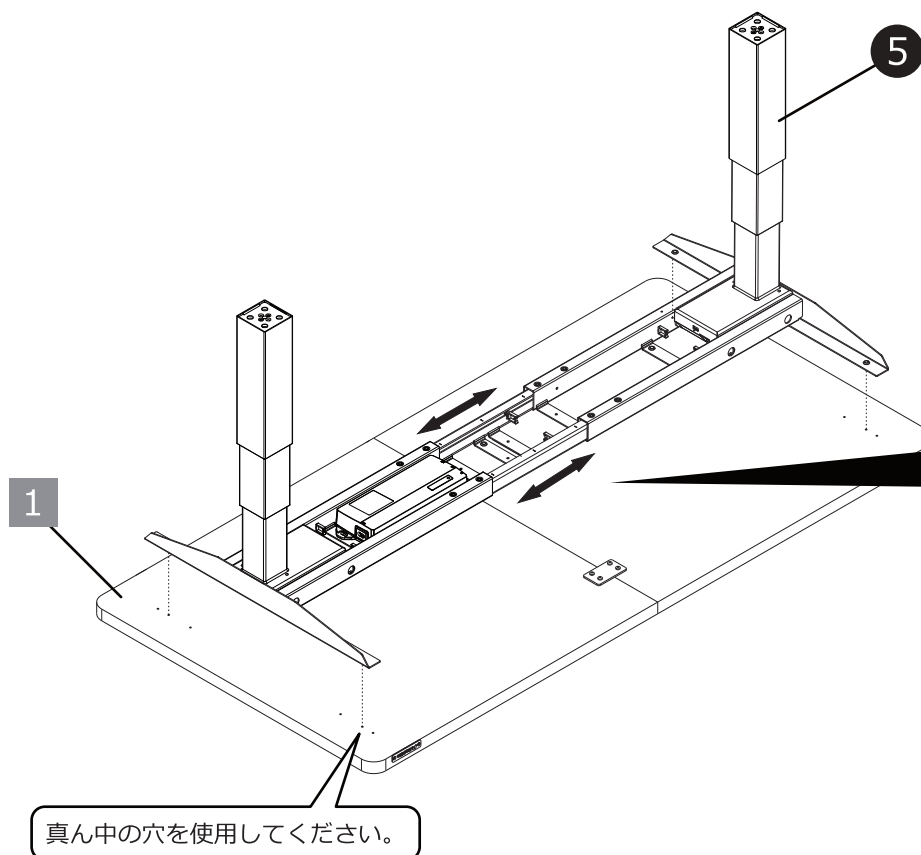


これ以降、天板に傷つかないように慎重に作業をすすめてください。

- 3 ⑦天板固定アームを⑤フレームに奥まで差し込み固定します。
このとき、はじめから組み付けられているボルトもしっかりと増し締めしてください。
※⑦天板固定アームが差し込みにくい場合は、脚部を内側に少し倒してから差し込んでください。

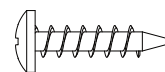


- 4 天板の下穴に天板固定アームのネジ穴が合うように⑤フレームを延長します。

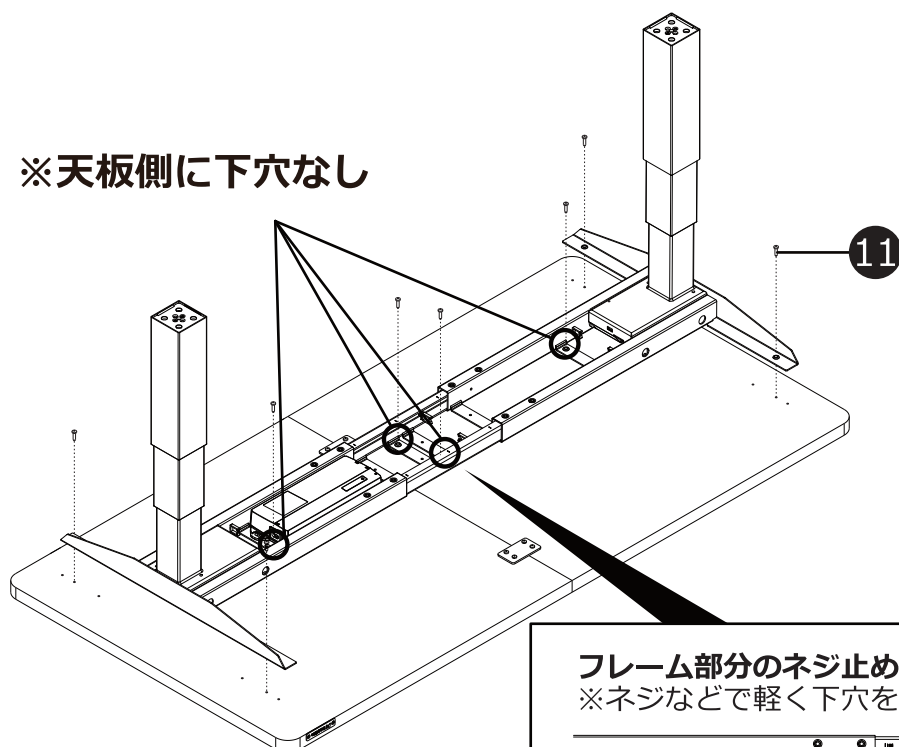


5 4で延長したフレームを天板に取り付けます。

11 × 8

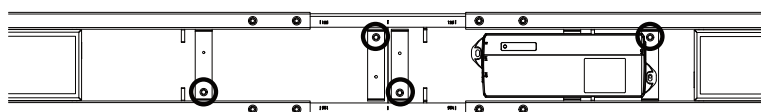


※天板側に下穴なし



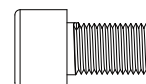
フレーム部分のネジ止め位置

※ネジなどで軽く下穴を開けてください。

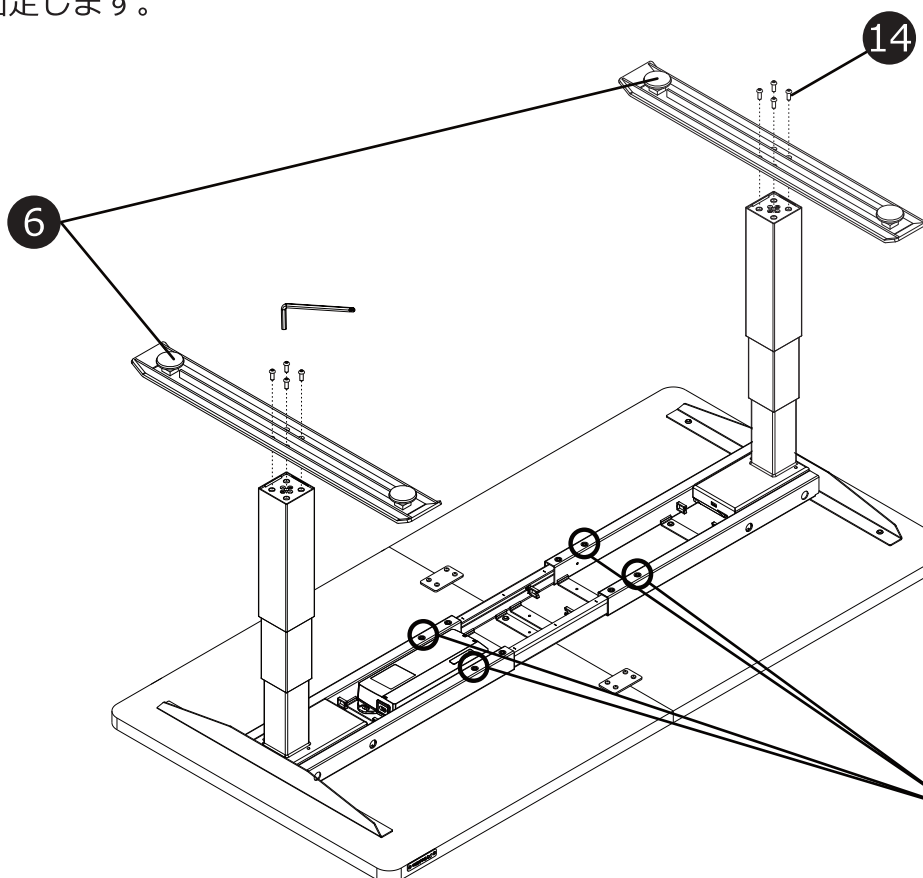
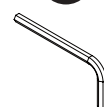


6 5で天板に取り付けたフレームに⑥足部を取り付け、延長したフレームを固定します。

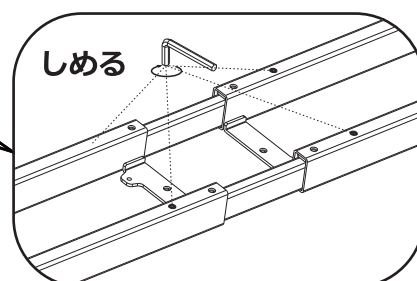
14 × 8



16

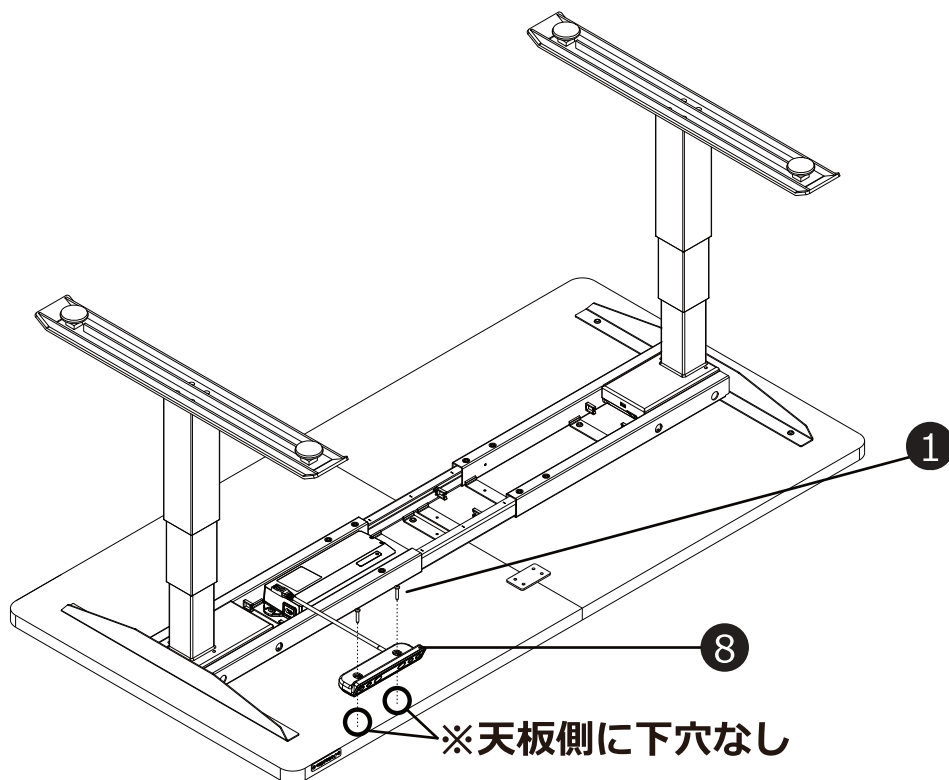
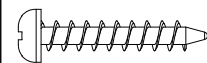


しめる



- 7 あらかじめ使いやすい位置を確認し、⑧コントローラーを取り付けます。
このとき、取り付けたい位置にネジなどで軽く下穴を開けておくと、まっすぐ
取り付けることができます。

12 × 2

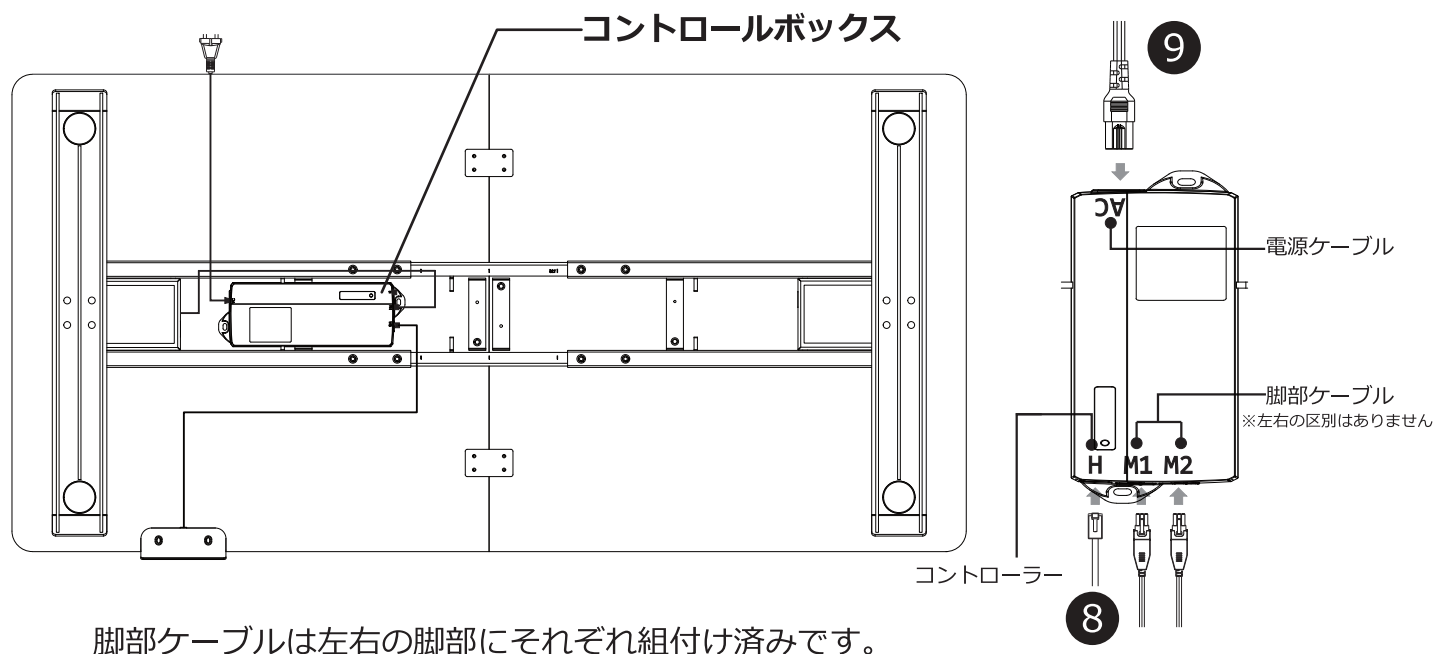


- 8 コントロールボックスに⑧コントローラー、⑨電源ケーブルを差し込んでください。
また、脚部ケーブルがコントロールボックスに差し込まれているか確認してください。

※ケーブルはしっかりと奥まで差し込んでください。

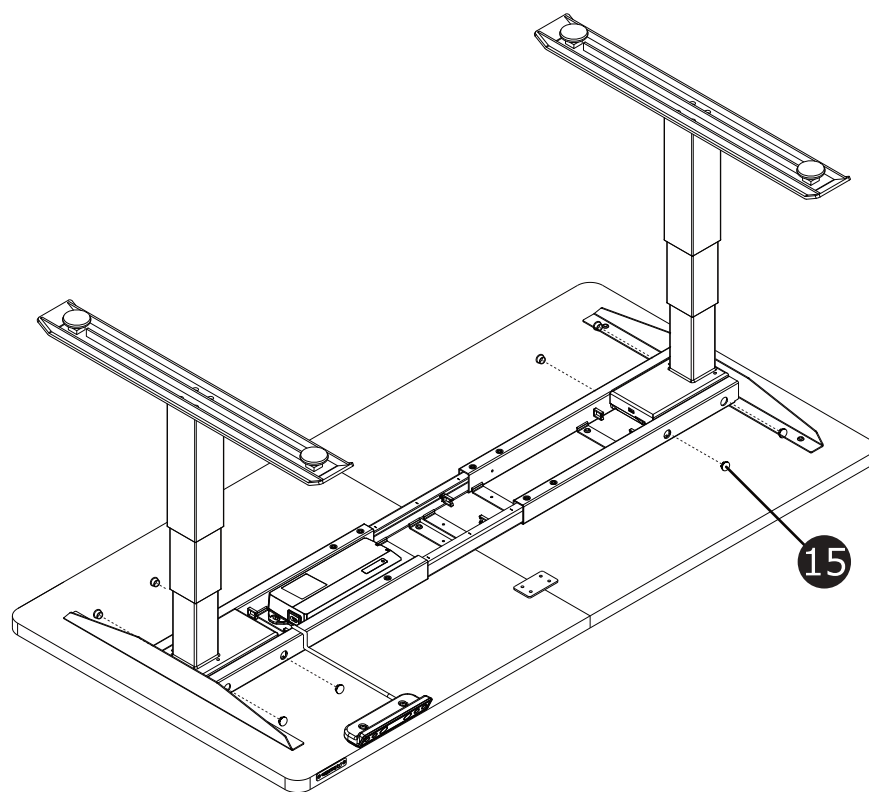
※脚部ケーブルははじめから脚部に取り付けられており、M1、M2それぞれに接続されています。（左右の区別はありません。）

※この段階で電源ケーブルをコンセントに繋がないでください。



脚部ケーブルは左右の脚部にそれぞれ組付け済みです。

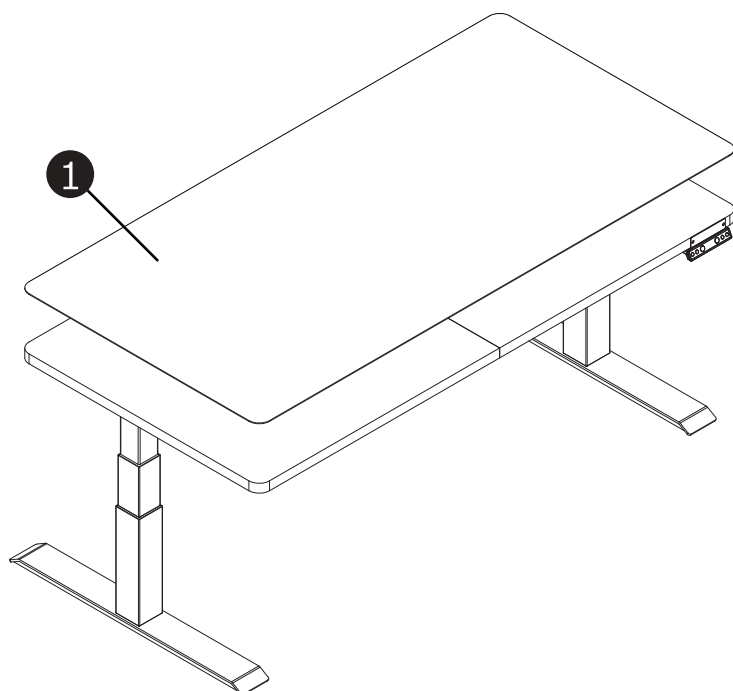
9 ⑮キャップを取り付けます。



- 10 本体を引っくり返して①マウスパッドを敷き、電源プラグをコンセントに挿します。初回は下記のリセット操作が必要です。リセットを完了すると完成です。

リセット操作

「上昇ボタン」と「下降ボタン」を同時に3秒長押しします。
天板の高さが下限位置まで下がった後、コントローラーから「ピッ」とブザーが1回鳴ったら操作完了です。



機能説明

■コントローラーの使用方法

※天板を昇降させる前に、天板の上や下に物が無いことを必ず確認してください。また、天板の上に物を置いた状態で天板を昇降させないでください。製品が転倒したり、机上からの落下物でけがをしたりするおそれがあります。



- LEDディスプレイ：現在の高さやメモリが表示されます。
- 上昇ボタン：押し続けている間天板が上昇し続け、最高値（101cm）に到達すると停止します。
- 下降ボタン：押し続けている間天板が下降し続け、最低値（50cm）に到達すると停止します。
- メモリボタン：お好みの高さを記憶させることができます。

■メモリボタンの設定方法

1. 「上昇ボタン」・「下降ボタン」を押して、天板の高さをお好みの位置にします。
2. 高さを記憶させたいメモリボタン（1～4）と「上昇ボタン」または「下降ボタン」を同時に2秒間長押しします。
3. 押したメモリボタンに応じて、P1・P2・P3・P4とLEDディスプレイに表示されたら完了です。



机の高さと椅子の座面の高さの関連性
<https://www.bauhutte.jp/bauhutte-life/tip2/>

■衝突検知機能の感度調整

本製品には、昇降中の天板が障害物に衝突した際に、傾きを検知して昇降が自動で停止する「衝突検知機能」が搭載されています。本項目は、衝突検知機能の感度調整の方法を記載していますが、通常の使用範囲において感度を調整をする必要はありません。

また、安全のため「衝突検知機能」は絶対にオフにしないでください。衝突検知機能をオフにすると、障害物があった際に停止せず、デスクが転倒したり周辺の家具等を破壊したりするおそれがあり大変危険です。

1. メモリボタンのうち「1ボタン」と「2ボタン」を同時に5秒間長押しすると、LEDディスプレイに感度設定値（デフォルト：5）が表示されます。
2. 「上昇ボタン」または「下降ボタン」にて、感度の範囲を0～9の範囲で変更できます。
※数字の大きい方が衝突感度が敏感になります。
※安全のため「0」は選択しないでください。「0」を選択すると、衝突検知機能がオフになります。

■ 単位変更

メートル単位⇔インチ単位の変更方法です。

1. メモリボタンのうち「1ボタン」「2ボタン」「3ボタン」または、「1ボタン」「2ボタン」「4ボタン」を同時に5秒間長押しします。
2. LEDディスプレイに「C-I」と表示されたら以下の操作を行います。
※「C-I」と表示されたまま、5秒間なにも操作を行わなかった場合は操作がキャンセルされます。

●単位をセンチメートルにしたい場合

「2ボタン」を押す。（LEDディスプレイに「C」と表示されます）

●単位をインチにしたい場合

「3ボタン」を押す。（LEDディスプレイに「I」と表示されます）

■ 天板昇降の上限・下限値設定

【上限値設定】

1. 天板の高さを、希望の上限値まで動作させます。
2. 「上昇ボタン」と「下降ボタン」を同時に押し、3秒以内に「下降ボタン」のみ指をはなします。
3. 「上昇ボタン」を押したまま、「下降ボタン」をゆっくり3回以上押します。
4. 「ピッ」という音が鳴れば設定完了です。

【上限値設定を無効にする】

1. 設定されている上限値まで天板を動作させます。
2. 上記【上限値設定】の手順2～4を繰り返すことで、上限値設定を無効にできます。

※下限値の設定は、上記手順の「上昇ボタン」・「下降ボタン」を逆に操作してください。

■エラーコード一覧

エラーコード	エラー内容	発生要因	ブザー	リセット操作	点滅表示	対処法
E00	リセット未完了警告	リセット操作が完了していない またはリセット操作が必要	なし	必要	なし	リセットしてください。
E01	過運転	連続使用時間を超過	3回	不要	5秒	5分間操作を停止してください。
E02	左右の高さに差がある	荷重の偏り等により、左右の高さに20mm 以上の差が生じている	2回	必要	5秒	荷重の偏りを取り除き、機器が正しく接 続されている事を確認して、リセットし てください。
E04	衝突検知	衝突検知機能が作動	なし	不要	5秒	障害物を取り除いてください
E11	M1過電流	過負荷等により電流値が上昇	5 回	不要	5秒	重い物や、障害物を 取り除いてください。
E12	M2過電流					
E21	M1ホール信号エラー	ホールセンサー信号受信、もしくは モーターへの電源供給に問題がある	2秒間	必要	5秒	機器が正しく接続されている事を確認 してリセットしてください。
E22	M2ホール信号エラー		4回			
E31/E32	M1電流エラー					

※上記以外のエラーコードが表示された場合は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

■リセット操作

「上昇ボタン」と「下降ボタン」を同時に3秒長押しします。
天板の高さが下限位置まで下がった後、コントローラーから「ピッ」とブザーが1回鳴ったら操作完了です。

■強制リセット操作

「リセット操作」が完了できない場合に、「上昇ボタン」と「下降ボタン」を同時に7秒長押しします。天板の高さが下限位置まで下がった後、コントローラーから「ピッ」とブザーが1回鳴ったら操作完了です。

■初期化

「リセット操作」完了後、継続して「上昇ボタン」と「下降ボタン」を同時に15秒長押しします。天板の高さが下限位置まで下がった後、コントローラーから「ピー」とブザーが約2秒間鳴ったら操作完了です。

※初期化すると、以下の設定が工場集荷時の設定に復元されます。

- メモリボタンの設定
- 衝突検知機能の感度
- 天板昇降の上限値・下限値

※上記リセット方法にて解決できない場合は、弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。